

【12月2日（火）】

午前中は静岡に本社を置く、Y社に訪問しました。チャーターしたバスの運転手に住所を伝え、いざ出発。大規模な工業団地へ無事に到着したが、団地入口には敷地内案内図が一切無く、迷ってしまいました。近隣の方への聞き込みでも明確な場所が特定できませんでした。結局、Y社に電話をし、迎えに来てもらうことになってしまいました。現地に行ってみて感じたのですが、案内図が無いって非常に不便なものです。

Y社社長からは、インドネシアと日本との違いをお話いただきました。インドネシアでは労働者を手厚く保護する法律が整っているとのことでした。

10月に大統領に就任したジョコ・ウィドド氏が11月に燃油補助金をカットしたことから、ガソリン価格が3割程度上昇しました。それに伴い物価が上昇してきたことから、労働者が賃金引き上げのデモを行ったとのことでした。我々が訪問する1週間前にそのようなことが起き、かなり大変なようでした。工業団地内の日系企業はその間



は仕事にならないので、工場を閉鎖したとのこと。事前にデモの最中に工場の操業をする旨の申請をし、許可を得ていても、いざ、デモが始まるとデモ隊が工場内に侵入し、労働者を連れて行ってしまった工場もあったとのことでした。

イスラム圏なので、ラマダンの最中は生産効率が必然的に落ちるので、見込み生産量も計画の段階で通常月よりも少なく設定しているとのこと。お国柄の違いを沢山お話していただきました。貴重なお話をいただき参加企業様も今後の事業展開の参考になったと思います。ありがとうございました。

15時に展示会の準備のため会場入り。会場での準備は滞りなく進んだと思います。日本の展示会とほぼ同じような状況だと思います。会場内は、ブース設営でごった返していました。

マニファクチャリング・インドネシアでは、通常、初回の出展はテント内のブースになりますが、ホールDにたまたま空きが出来たので、今回は屋内にて展示することができました。もし来年出展するのであれば、屋内になる保証はありません。



夕食は展示会出展者が全員揃うということもあり、懇親会を兼ねてブロック M という地区にあるお店で食事をしました。インドネシア料理と和食を融合させた料理でした。高級感漂う美味しい食事に舌鼓を打ちました。このレストランでは、インドネシア各地（バリ、スマトラ、西ジャワ等）の舞踊を観ることが出来、貴重な体験ができました。懐石料理のように食事が一品ずつ出てくるので、ホールの女性が丁寧に対応して下さりました。個人的には食べるのが早い方なので問題は有りませんでした。談笑しながら食事をしていた方は、お皿に食事が残っているのに、下げられてしまいました。日本のような「おもてなし」の文化が浸透していないところでは、ちょっとしたアクシデントもあります。懇親会も無事にお開きになり、明日の展示会に向けて鋭気を養えました。

